



ノンスリップ滑り止め2成分型ライニング材

すべり止めコート

安全確保は足もとから！

すべり止めコートは、接着力と耐薬品性に優れたエポキシ樹脂を主成分とし、シリカとセラミックの充填材を含有することで耐久性を向上させ、さらにUL-94 V-0相当の極難燃性を付与した画期的な滑り止めライニング材です。

すべり止めコートの特徴

- 水、油、粉塵などのスリップの原因になる物質に対して、極めて優れた滑り止め効果を発揮します。
- 下地の素材(金属、コンクリート、アスファルトなど)に良好に接着し、剥がれ難い。
- 特殊なケースを除いてプライマー不要で、専用ローラーにて1回塗りの簡単施工。
ドブ漬け溶融亜鉛メッキには、接着力は不安定です。
専用プライマーがありますので、事前にご相談ください。
- プラスチックの難燃性の世界基準である
UL-94 V-0、相当の自己消火性を有しています。
- 耐水性、耐薬品性、耐摩耗性に優れています。

荷 姿

5.0kgセット
(主剤4.5kg、硬化剤0.5kg)

カラー

- グレイ
- グリーン
- イエロー

※製品の色は印刷のため、実物と多少色合いが異なります。
※数量その他条件により調色承ります。
※色調は予告なく変わることがあります。



用 途

- 工場や事務所の屋外、屋内の階段や通路、リフト走行路、トラックヤード(路面保護も兼用)
- 危険物、非危険物のタンク天板や昇降階段、防液堤など
- マンション、アパート等の建築物の階段及び通路
- その他 特殊作業車・船舶・飛行場・トラックスケール・マンホール蓋、等々滑る危険のある箇所
- 立体駐車場の昇降階段や車両通行スロープ



工場内階段



封鎖できない階段の塗り方
(塗る日を変えて半分ずつ塗布)



安全通路



縞鋼板のスロープ



マスキングを工夫して意匠性を向上
(一般住宅)



関西パテ化工株式会社
<http://www.kansaipate.co.jp/>

本 社 〒579-8003 東大阪 市日下町3丁目7-36 TEL(072)982-2131(代) FAX(072)982-2135
東 京 支 店 〒121-0813 東京都足立区竹の塚3丁目14-10 TEL(03)3850-3191(代) FAX(03)3850-3193
北九州営業所 〒803-0844 北九州市小倉北区真鶴2-4-25 エテルナビル1階 TEL(093)571-7156(代) FAX(093)571-7159

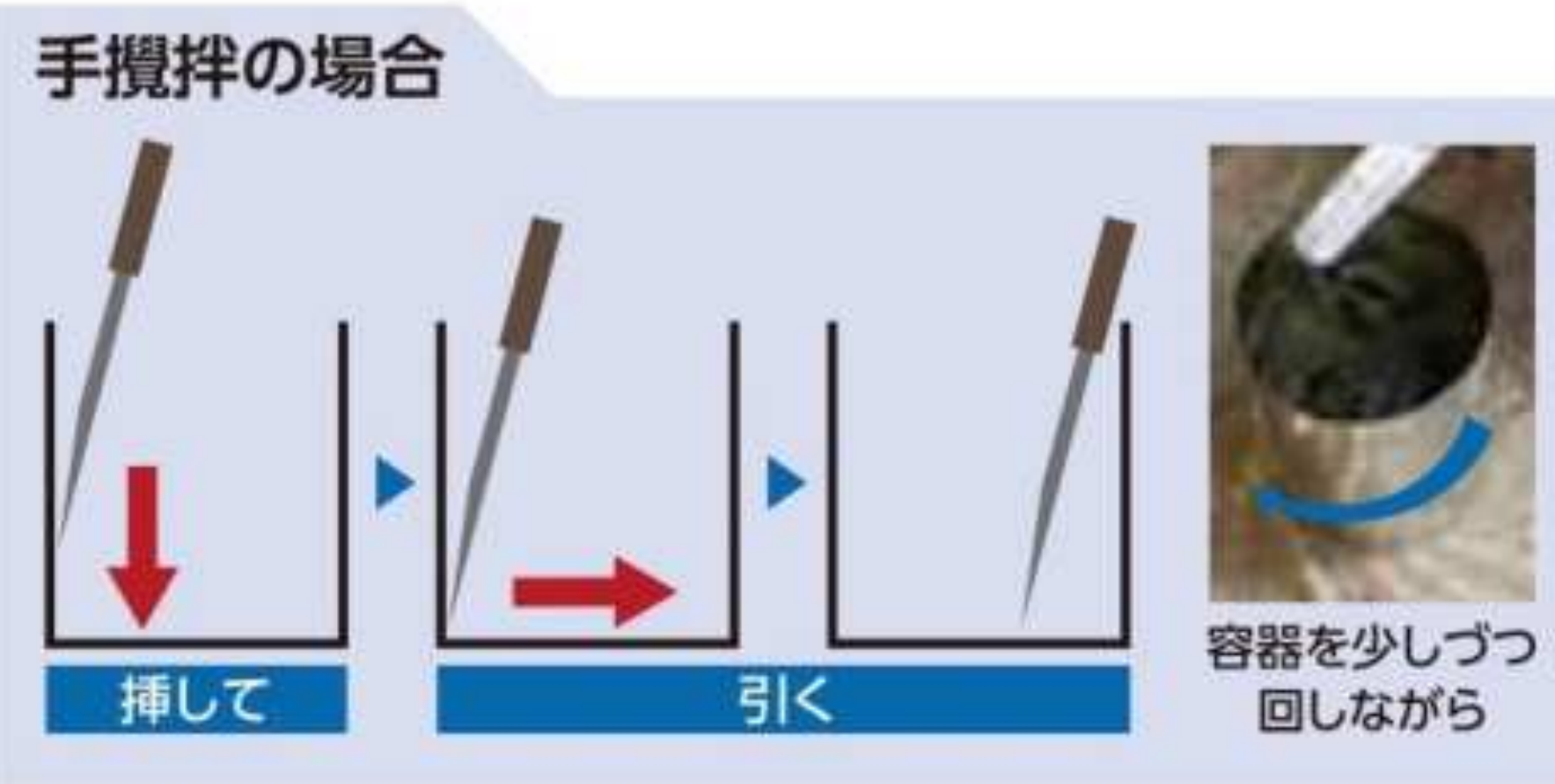
施工方法

1 下地処理

- 埃・砂・泥等は清掃し、水分がある場合は十分に乾燥させてください。
- 旧塗膜の劣化・浮き・錆等は、サンダー処理またはワイヤーブラシ等で除去してください。
- 油分（オイル・グリスなど）等は、有機溶剤及び油除去剤等を使い除去してください。
- 必要に応じて床面の凹凸やクラックを事前に補修してください。

2 マスキング貼り

- 塗布面の形状に合わせ、マスキングテープを貼り付けてください。
- 周囲汚染の恐れがある場合は、マスカー等を併用ください。



3 すべり止めコート攪拌

- 硬化剤を主剤の缶にヘラ等を使い、全量移し替えてください。
- 電動ミキサーを使い均一な色・状態になるまで混合してください。
- ヘラを用いて手混ぜする際は、長さ25cm以上で幅2～3cmのコシの強いヘラを使い、ヘラの先を容器の壁に当てながら底まで突き刺し、次に手前に引き、容器を回しながらそれを繰り返して3分程度混合攪拌します。（左図）

※小分けして使用する際は、秤量し、残った主剤と硬化剤は容器蓋を密閉して冷暗所に保管すれば長期間の保存が可能です。

4 すべり止めコート塗布

- 混合したすべり止めコートを塗布面へ置いてゆき、ゴムベラ等で均一に約1～2mm厚程度に塗り広げてください。その後直ちに、専用ローラーを使いパターン（凸凹）付けして、仕上げてください。
- 仕上げ塗り後、直ちにマスキングテープを除去してください。



比較

	すべり止めコート	塗料+珪石	滑り止めテープ
防 滑 効 果	◎ 優	× 劣	△ 中
施 工 性	◎ 優	× 劣	△ 中
難 燃 性	◎ 優	× 劣	× 劣
耐 摩 耗 性	◎ 優	× 劣	× 劣
耐 腐 食 性	◎ 優	◎ 良好	× 劣
通 行 止 め 状 態	△ 1日	× 2日	◎ 優
実 用 耐 熱 温 度	◎ 優	◎ 優	△ 中

専用プライマー（別売）

- M-プライマー（1液タイプ）：1kg入（8㎡～10㎡塗布可能）

すべり止めコート専用ローラー（別売）

- 紙管ローラー（標準ローラー）：100mm×φ38mm×3本/袋
200mm×φ38mm×2本/袋
- 短毛ローラー（縞鋼板用ローラー）：100mm×φ38mm×2本/袋
230mm×φ38mm×2本/袋

使用上の注意

- 主剤と硬化剤の混合が不十分だと硬化不良、強度低下の原因となりますので十分混合してください。
- 可使時間の範囲内しか施工できませんので、混合したら速やかに塗布してください。
- 接着の阻害となる粉塵・油分・水分・錆・旧劣化塗膜等は、確実に除去してください。

性 状

項 目		基準	単位	試験結果	
配合比			重量比	主剤:硬化剤=9:1	
外 観			—	低粘度ペースト状	
難燃性		UL-94規格	—	V-0相当	
塗布面積		5kgset	m ²	2~2.5	
硬化剤 一般用	可使時間		25℃	分	60
	硬化時間	歩行	25℃	時間	24
		車輦通行	25℃	時間	72
硬化剤 冬用	可使時間		10℃	分	60
	硬化時間	歩行	10℃	時間	24
		車輦通行	10℃	時間	72

※上記データは、弊社試験結果であり保証値ではありません。

母材材質による注意事項

- カラークリート、ケミクリート、防塵コート等の特殊なコンクリート面は、事前に相談下さい。→直塗りでは剥離します。
- FRPの表面へ施工する場合は、塗布面を#40サンドペーパーでケレンが必要です。
- 御影石などのガラス成分が多い表面への施工は、事前に問い合わせして下さい。
- 湿気の多い時期や冬の施工で、金属面に塗布する際は、結露に注意が必要です。
- ガラスやシリコン、熱可塑性プラスチックには接着しません。

塗布方法は動画でも
ご覧いただけます



⚠ 注意事項

※健康上の注意事項については、SDSを参照の上、順守してください。